

# 講演会 ローカル線と地域再生

# JR只見線をどう活用すべきか

## いすみ鉄道からの提言

講師 **鳥塚 亮氏** (いすみ鉄道株式会社社長)

日時 **平成24年12月2日(日)** 16時30分〜18時30分

会場 **金山町多目的体育施設御神楽館**

昨年の豪雨災害により、私たちの地域を結ぶJR只見線の会津川口駅から只見駅の区間は、いまだ復旧の目処が立っていません。

これから只見線はどうなるのでしょうか？ 私たちには何ができるのでしょうか？

只見線というローカル線と各地域の駅。この大切な地域の宝を、まちづくり、まちおこしの核として活用することはできないのでしょうか。

今回の講演会では、赤字ローカル線、いすみ鉄道の存続に新たな道筋をつけた、いすみ鉄道公募社長、鳥塚亮氏をお招きし、ローカル線を柱とした地域づくりをテーマにお話しいただきます。ご講演のあとは、「地域の人ができることはなんだろう」「どうしたら地域が元気になるんだろう」という思いを、鳥塚亮氏と共に語り合えたらと思います。



金山町多目的体育施設御神楽館  
福島県大沼郡金山町大字本名字船渡913  
TEL.0241-54-5011



いすみ鉄道株式会社は、千葉県いすみ市の大原駅から、夷隅郡大多喜町の上総中野駅までを結ぶいすみ線を運営する、沿線自治体などが出資する第三セクター方式の鉄道事業者。



### 鳥塚 亮 とりづか・あきら

1960年、東京都生まれ。明治大学商学部卒。子供のころから乗り物好き。新幹線の運転士になる夢は、国鉄赤字による採用中止で断念。学習塾講師を経て、27歳で大韓航空入社。30歳でプリティッシュ・エアウェイズ(英国航空)入社。旅客運輸部長などを歴任する。本業のかたわら32歳より鉄道前面展望ビデオ・DVDの制作、販

売をはじめ、その本数は通算600タイトルを超える。2009年、いすみ鉄道の社長公募に応募し採用される。社長として、ムーミン列車の運行、物販の拡充、訓練費自己負担運転士募集などの営業努力で収支を改善し、いすみ鉄道の当面の存続に道筋をつける。著書に『いすみ鉄道公募社長 危機を乗り越える夢と戦略』(講談社 2011)。

主催: 奥会津温泉郷協議会

入場無料

お問合せ 奥会津温泉郷協議会(塩田)090-3129-8102

奥会津温泉郷協議会とは、只見川のことや只見線のこと、里山を守ることを考え、訪れるお客様に最高のおもてなしするために、福島県奥会津の小さな宿がスクラムを組みました。

後援: 奥会津五町村活性化協議会、只見川電源流域振興協議会

協力: 奥会津なでしこの会、(一社)只見町観光まちづくり協会

NPO法人わくわく奥会津.COM

福島県地域づくり総合支援事業(地域協働モデル支援事業)